



第13回日本まつりに18万人 今年も大盛況



ギョウザもブラジル人に人気の一つ。二戸市の高級地酒「南部美人」を久慈さんに提供頂き、美味しい「いわての酒」を味わって貰い宣伝に努めた。今回「盛岡冷麺」も出品予定であったが注文品が届かずご迷惑をおかけした事をお詫びしたい。



岩手の銘酒「南部美人」を美味しい美味しいと平らげた皆さん

つあり、何処のブースでも長蛇の列で完売したそうである。

日本まつりは年々盛大になり、今までの積み重ねがあったからこそ現在があるのではないかな。

岩手県人会でも今後新しいアイデアで、出店したいと研究を重ねていきたいと考えている。まだまだ、日本祭りで改善すべき点はあろうが今後改善継続され「日本文化」を伝えて欲しいし伝えたい。

県人会では「第13回フェスティバル ド ジャポン」(日本祭り)の映像をNHK盛岡支社に送りましたところ、去る8月20日『おぼんですいわて』の番組中「ビデオ便り」として放映されました。

日系社会最大のイベントとなった『第13回日本祭り』が、「ふるさと」をテーマに7月16日から18日にかけてイミグランテ会場で開催された。

メインは何と云っても各県人会の「郷土食」。故郷の懐かしい味に人々が群れ、長い列に加わり「郷土の味」を満喫したようである。

岩手県人会は「三陸わかめうどん」(写真左)今回特別岩手産の「天然高級わかめ」を取寄せ、わかめ本来の食感、歯応えを味わって頂いた。勿論味にこだわり、イリコ、昆布、椎茸、花鰹で下出汁をとり数種の調味料を加えた特製出汁に、天ぷら、わかめ、椎茸昆布の細切、葱、ナルト等で付合せたうどんは美味しい美味しいと食べて頂いた。

(写真下 岩手ブース前の長い列)



特設舞台では、美人コンテストやコロニア芸能団体の舞踊、歌謡ショー、太鼓に加え、日本の歌手原田悠里さんが平城遷都1300年応援ソング「古都旅情」など数曲を披露した。

一方広大なパビリオン内ではスポンサーや企業、日系団体、バザー店に今回アマゾン特産品が出店。ところ狭と立ち並んで此方も人人人で一杯。食コーナーは、各県の「郷土食へのこだわり」が実りつ



移 民 の 日 厳 か に

6月18日



1908年6月18日、第1回日本移民781名を乗せた『笠戸丸』が、ブラジルのサントス港着以来、102周年を迎えサンパウロや各地で先亡者への慰霊行事が行われた。

サンパウロでは、サン・ゴンサロ教会で慰霊ミサ、県連（ブラジル日本都道府県人会）と仏教連合会共催で追悼法要、文協でも主要日系団体共催で法要が行われ、午前10時半からイビラプエラ公園内の『開拓先亡者慰霊碑』で行われた、県連、仏教連合共催の「先亡者追悼法要」では、島内日本国大使、大部サンパウロ総

領事を迎え、日系団体、各県人会など約70名が出席。

各県人会では過去帳を祭壇に供え、参加者が見守る中厳かに追悼法要が行われ、出席者が次々と焼香し先人を偲んだ。

因みに、岩手県人最初の移住者は、大正7年11月（1918年）「さぬき丸」で小野寺美代治氏（一関大町出身）が海興計画移住者としてパラナ州コンコルダ耕地に入耕し、コーヒー栽培に従事した。県人移住満92年を迎えた。「郷愁」慰霊碑近くの湖畔では、開拓者先亡者に「郷愁を伝える」がごとく「雪割り桜」数本が咲き始めていた。



ブラジル岩手県人会2009年度収支表

県人会 2009 年度 収支報告

県人会定期総会では、年度の事業報告並びに会計報告、次年度事業計画と予算案を提示し、承認されております。

会員並びに賛助会員（国内、海外）でご出席頂けなかった方々へ、遅くなりましたが改めて報告させていただきます。

尚、R\$と円で表し日本側でも分るように致しました。もしご質問などありましたら問合せ下さい。

	収入の部	金額 R\$	円
1	会費収入	13,042.50	698,304.21
2	賛助会費国外	5,275.07	282,430.79
3	特別寄付	3,116.66	166,868.07
4	母県助成金	18,677.39	1,000,000.00
5	会館賃貸	26,265.00	1,460,245.73
6	行事事業	20,352.79	1,089,702.04
7	その他	531.00	28,430.10
	小 計	87,260.41	4,671,980.94
8	信 託	34,193.60	1,830,748.30
9	銀行口座	4,813.25	257,704.64
10	現 金	704.09	37,697.45
	小 計	39,710.94	2,126,150.39
	合 計	126,971.35	6,798,131.33

	支出の部	金額 R\$	円
1	会館管理費	26,357.96	1,411,222.87
2	家屋、諸税	4,624.18	247,581.70
3	銀行諸経費	802.62	42,972.81
4	事務電話通信	10,063.56	538,809.76
5	光熱費	2,424.18	131,946.70
6	職員給与	24,850.00	1,330,485.68
7	計理士費	4,430.37	237,204.98
8	会報発行郵送	3,893.25	208,447.22
9	行事、事業費	17,341.13	928,455.74
10	その他	1,048.00	56,110.62
	小 計	95,835.25	5,133,238.10
11	信 託	10,000.00	535,406.71
12	銀行口座	20,431.39	1,093,910.34
13	現 金	664.47	35,576.17
	小 計	31,095.86	1,664,893.22
	合 計	126,971.35	6,798,131.33

Dreams Come True

ニューヨーク・大連・サンパウロetc...世界10カ国。
二戸の酒米「ぎんおとめ」で造られる
二戸の地酒 南部美人は世界へはばたく。



南部美人

株式会社南部美人
岩手県二戸市福岡字上町13
TEL 0195-23-3133
TEL 0195-23-4713
FAX 0195-23-4713
E-mail: sake@nanbubijin.co.jp
ホームページ毎日更新
http://www.nanbubijin.co.jp
●お酒は20歳になってから

南部美人を飲めるサンパウロの店

JUN SAKAMOTO TEL 3088-6019
A-1 TEL 3145-1833
BUDDHA BAR BRASIL TEL 3044-6181

SHINTORI 新 鳥 TEL 3283-2455
KINOSHITA 木 下 TEL 3849-6940
SHAYA TEL 3079-5020

阿 呷 TEL 3145-1833
藍 染 TEL 5080-3300
らん月 TEL 3085-6915

6月1日 県関係者に県人会近況を電話。

- 8 西館世公ピラボ県人会長より、50周年式典参加の案内あり。
- 10 文協で開催された西谷博氏、中理両氏春の叙勲祝いに会長出席。
- 11 川村県国際課主任より、南米訪問日程・慶祝団員(11名)など受信。
- 18 県連主催日本移民102周年開拓先亡者法要へ千田会長出席。
- ★ 県人会ニュース168号を国内外へ発送。
- 20 午前10時より数名で日本まつり準備について会合あり。
- 22 日本祭り説明会に藤村ノルマさん出席。
- 24 国際課川村主任より、山桜植樹検討要綱について受信。
- ★ ワールドカップ日本第3戦でナイジェリアに3対1で快勝。
- 26 援護協会所属「青空教室」発表会に会長夫妻出席。
- 29 ワールドカップ準々決勝戦で日本はパラグアイと善戦、PK戦で惜しくも敗れた。

7月1日 県連代表者会議に会長出席。

7 藤村ノルマさん三重県人会で開かれた、日本まつり説明会席。

- 8 南部美人久慈氏より、日本祭り他へ酒提供のメールあり。
- 9 西館ピラボ県人会長へ式典出席者2名を知らせる。
- 10 役員会 日本祭り、ピラボ祝典参加、慶祝団歓迎交流会など
- 12 歓迎交流会お知らせ発送。新聞社へも案内。
- 14 日本祭り用道具類を会場へ運び込む。
- 16 から18日までの3日間、第13回日本祭り開催され出品物完売す。
- 19 岩手県国際交流協会より賛助会費28名分送金の通知あり。
- 25 日本祭りの慰労会開催。ご苦労さまでした。
- 26 国際課川村主任より訪伯について電話あり。
- 30 南米訪問団員11名を千田会長、藤村副会長出迎える。アスンシオン発まで対応。
- 31 千田会長夫妻ピラボ県人会記念式典参加のためパラグアイのガラニ空港向け出発。
空港には伊藤鷹雄県人会長夫妻が出迎えた。夕刻、工藤副会長、北村書記加わり夕食会あり。

ありがとうございます

会費納入者名 敬称略・年額R\$75.00

(6月) 田中キヨ、矢島みどり、渡辺誠一、児玉勲(賛助)、及川益夫、井貝須磨子、(7月) 宇佐美克己(賛助)、峰きよこフォフィア、(8月) 前川鮎ノ助、中島悟(賛助)、猫塚司、星きみこ、丹野清人(神奈川)

ブラジル県人会賛助会費納入者名

(海外) 敬称略 () 内は単位千円

(2009年度) 佐藤節夫(3)、(以下2010年度) 高橋良平(盛岡(3)、増田稲子(神奈川(3)、遠藤勇(八幡平(10)、渡辺勉(花巻(5)、久慈浩介(二戸(3)、紀タツ子(盛岡(3)、渡邊史朗(盛岡(3)、高橋典克(花巻(3)、森茂四(久慈(3)、武藤千賀子(盛岡(3)、和美宏幸(盛岡(5)、桑島治仁(金ヶ崎(3)、小田島栄(北上(3)、松本トミ(山田(5)、佐々木栄洋(遠野(5)、千田良子(金ヶ崎(3)、熊谷澄子(盛岡(3)、伊藤栄喜(北上(3)、和賀武耕(奥州市江刺(3)、坂本洋(盛岡(3)、菅原圓雄(花巻(5)、菊地光明(山田(3)、鈴木直志(盛岡(3)、沼崎喜一(山田(5)、千田功平(一関(3)、一戸和(盛岡(3)、高橋洋介(北上(3)、山折昭彦(奥州市水沢(10-2年分?)、佐藤武(金ヶ崎(3)、東根千万億(盛岡(3)、佐々木義久(新・盛岡(5)、佐々木正徳(新・盛岡(5)、佐藤節夫(金ヶ崎(3)、県国際交流協会から以上の方々から6月までの会費納入の知らせがありました。

寄付・寄贈(敬称略)

(6月-8月) 敬称略 榎原マリリア 45レアイス、佐々木憲輔、来館者多数 お茶菓子、塚田よし子 お茶3袋、久慈浩介 お酒『南部美人』18本、(8月) 安武俊毅 プロポリス15本、青空学級(PIPA)100、高木しんこ 50、マリリア 30、松本トミ 100、

『図書寄贈者』(6月、7月) 大森 3冊、無名 2冊、岩上エリカ 雑誌多数、武田正夫 3冊、無名 1冊、青木徳人 2冊、石崎矩之 2冊、稗貫義朋 1冊、無名 28冊、宿屋 73冊、(8月) 川村一弘(岩手) 遠野物語など4冊、宿屋 7冊、『遠野市役所』水木しげるの漫画『遠野物語』発刊百周年記念関連図書など。

「図書利用者数」 6月 785冊、7月 842冊、

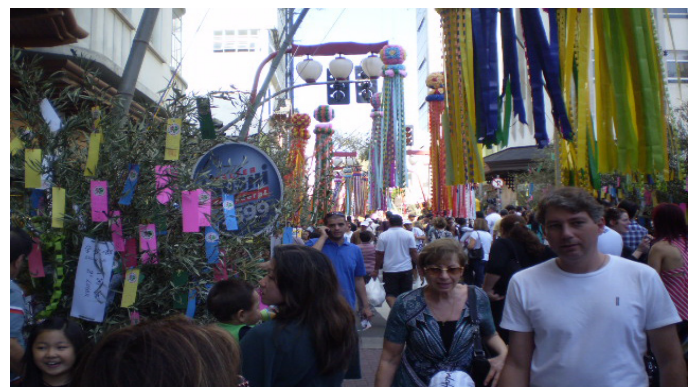
県人会今後の行事

『第2回東北まつり』9月12日(日)北海道協会(Rua Joaquim Távora 605,Vila Mariana)で『東北ブロック青年部主催』で行われます。岩手は「三陸わかめうどん」を出品します。特別枠に日本祭り未着だった『盛岡冷麺』を出品します。また岩手の銘酒『南部美人』出品予定。少々の岩手土産を展示します。各県人会で県紹介ビデオが上映されますが、岩手は新しい「いわての観光」の一部を上映します。

12月19日(日) 忘年会と『第45回会員交流誕生会』を開催します。持ち寄りをお願い致します。

お知らせ

県人会ニュースPDFは、ホームページに掲載されております。印刷された会報は白黒ですが、PDFはカラーで出来ております。カラーをご希望の方はe-mailで送信しますので、アドレスをお願い致します。



7月24-25日『ブラジルの仙台七夕まつり』

事務所来館者数 6月 523名、7月 532名、
(一階ホール利用者は含まれておりません)

逝去の報



大森 仁太郎氏(アチバイア在、93歳。滝沢村出身)は、6月7日急逝されたと同地在の、及川君雄氏から連絡ありました。合掌 大森さんは両親や兄弟たちと1933年アフリカ丸で渡伯された。

岩手県・南米県人との絆つよく

ブラジル県人との交流



8月5日(木)午後7時から『岩手県南米訪問団員』と、『JICA派遣岩手日報』記者を迎えて歓迎交流会を開催。一行は、岩手県政策地域部加藤主税部長(栃木)、NPO国際課川村一弘主任(花巻)、岩手県相撲連盟副会長真崎良平団長(滝沢)菊地光明監督(山田)、山澤順三審判(矢巾)、竹田勇人選手(盛岡)、小野寺健一選手(滝沢)、遠藤貴幸選手(西根)、松本トミさん(山田・81歳)、佐々木睦美さん(山田)、佐々木眞子さん(山田)に郷右近勤岩手日報記者に県人会員など53名が出席。

歓迎式は、多田マウロ副会長(85年度研修生)の司会で先亡者への黙祷、千田会長の歓迎の挨拶、加藤部長はアスンシオン県人会、ピラポで行われた相撲大会、入植慰霊祭、入植50周年式典、県人会50周年記念式典、イグアス県人会との交流や部署の役目などと、ブラジル県人会との交流に意義を感じたと話された。

真崎団長は20年ぶりの南米訪問で相撲大会では団体戦優勝、個人戦は1,2,3位と岩手県の選手が上位を占めた事を報告、菊池監督は確か4回目の来伯で毎回岩手相撲団を率いて来伯、6回目の訪伯を果たした松本さんは、昨年はじめ亡くなられたご主人と南米訪問の思い出を話された。郷右近記者は南米取材の目的を語り、明日からアマゾン地方を取材されるとの事。

菊地名誉会長の乾杯の音頭で祝宴が始まった。岩手の銘酒「南部美人」も宴を盛り上げた。山澤審判はじめ選手、団員の自己紹介があり、高校生の佐々木さんは南米で初めての太鼓を披露、

県人会太鼓雷神メンバー3名(昆野ワシントン、多田マサキ、多田イサオ)でお返した。記念品相互の交換が行われ、北国の春を全員で合唱し散会した。

翌6日、加藤部長、川村主任は『ブラジルに岩手の山桜を送ろう』と達増知事の希望で、菊地名誉会長の案内で植樹の候補地の一つである、サンパウロ総合大学構内の市役所支所関係者らと懇談。桜植樹を行った関係者らと天皇陛下お手植えの桜や植樹された各敷地を視察した。午後新聞社、県連を訪問、移民資料館を見学。一方慶祝団は南米一の卸売市場セアザなどを見学した。訪問団は、松本トミさん(藤村副会長の姉)は当分当地に滞在予定で、南米各地で交流を深められた皆さんは大変喜んで6日夜機上の人となった。



おめでとう ピラポ岩手県人会創立50周年式典



重雄氏(県農務部時代多くの移住者を送り出し、退職後南米訪問の度移住者を激励した)のメッセージ代読や激励金の贈呈、県からの激励金、記念品贈呈や、功労章、感謝状など相互から贈呈があった。

式典後、郷土芸能(さんさおどり、鬼剣舞)やパ国民族舞踊、ピラポ音頭では慶祝団も加わり皆さんが楽しく踊った。この式典でジャイカから派遣された岩手日報の郷右近勤記者に紹介され、前日の入植祭や各地、またブラジルも取材の由。

祝賀会は、富美村会館で行われ、西館会長、加藤県部長、県連会長、千田ブラジル、猪俣アルゼンチン両国県人会長の祝辞などで祝宴が行われ、久慈浩介南部美人五代目蔵元から提供頂いた銘酒「南部美人」をサンパウロから持参、会員皆さんに懐かしい岩手の香りを味わって頂いた。

8月3日(火) パラグアイ国ピラポ岩手県人会創立50周年記念式典が盛大に行われた。パ国中央部イタプア州ピラポ移住地に、岩手県人が入植以来50周年、同時に県人同士の心の拠り所として県人会を創設され、県人同士の『絆』を作り上げてきた。

式典は、富美村会館の広場で行われ、北村幸雄書記の司会で先亡者への黙祷に続き、西館世公会長の挨拶、加藤主税県政策地域部長が達増拓也県知事の祝辞を代読、工藤好雄ピラポ市長、日会会長、真崎相撲団長など多数の祝辞、盛岡の吉田



加藤部長の挨拶



(写真 さんさ踊)

との事で写真に収めた。宴はカラオケなどもあり、最後に相撲団や慶祝団の自己紹介、山澤監督の相撲甚句の披露があり、北国の春で大合唱し宴を終えた。慶祝団一行と共に次の訪問地イグアス入植地に着いたのは午後6時であった。夜伊藤さんの長男ご家族4人と共に食事し農場へと向かった。

※ 式典前、故・工藤前県人会のお宅を訪問し霊前にお参りした。

サンパウロ在の今野進平氏(奥州市江刺区出身)がピラ

に妹さんがいる

8月4日(水)(寒い)伊藤牧場からは夜中の雨で街道までの道が泥濘で、4輪駆動車を待ち歓迎会会場である日本人会館に着いた。離パまでの時間に菅原祐介前県人会長と懇談。空港までは86年度研修生で川村ネルソン君、阿部シーレイさん、富沢ニルトン君や留学の川村ユリさん(旧姓岩上)、同期だったと云う工藤忠利さん(農協財務理事)に空港まで送って貰い、エステ空港からアスンション周りで帰伯した。



苦闘 50 年の歴史が !!

ピラポ移住地入植祭

『序』サンパウロから千田夫婦がパ国グアラニ空港に7月31日(土)着、伊藤鷹雄イグアス県人会長が出迎えた、荷物が着かず明日の午後過ぎしか送り返されないとの事で、雨も降り出し移住地の福岡旅館に伊藤夫妻と宿を取り、会長夫妻、工藤副会長、竹田書記さんらと共に歓迎夕食会に出席。

翌朝8月1日(日)は気温8度位で寒かった。工藤会長の案内で移住地内を視察、この移住地も50年前から入植者が原始林を、切り開き今日を成し遂げたご苦労の姿を目のあたりにした。多田マウロ副会長と同年度にイグアスからの研修生福井一郎氏(日本人会長)とも会えた。空港で荷物を受け取り伊藤会長の牧場へ向かった。(写真下 伊藤氏の牧場)



伊藤氏や故・父勇氏は40周年前滝沢村開拓地からの移住者で、南米に理想郷を築こうと渡った。(アルゼンチナ丸第29次航海でNHKが追跡ドクメンリーを作成、ご覧になられた方も多いと思うので省く)伊藤父子は耕地内に地元の子供たちのため、私設学級2教室を設け数年前まで教育を施していたとの事。教師の確保が難しく校舎は黒板や椅子、机があり学校の面影を残した校舎がガランとしていた。

同牧場では約500頭の肉牛を飼育、いつも美味しい牛肉を提供したいと飼料を研究している。遠くはアルゼンチンからも取引があるという。休耕を終えた畑で大豆栽培も行っている。夜、次男ご家族3人と夕食。

※ 4日午後に慶祝団の歓迎会をイグアス県人会主催で開かれるので、銘酒「南部美人」を試飲して頂こうと置いてきた。

8月2日(月)寒い早朝5時起床で伊藤会長夫妻とピラポへ向かった。1日の相撲大会に続き、早朝から移住地入植先亡者378柱の慰霊祭が行われており、県の加藤部長が献花する前に到着した。(写真 378柱の御霊への慰霊祭)



ピラポ入植50周年式典は、市役所の多目的ホールで行われた。45周年には大統領も参加したが今回イタプア州知事や地元関係者、日本から岩手、高知の慶祝団を迎え、代表者等の祝辞があり、式典は盛大で延々3時間ほど続いた。

入植50年記念碑の除幕があり、日本人会多目的大ホールでは1000人を超える祝賀パーティが民族音楽が流れる中、盛大に開かれた。この日、福井イグアス日本人会長やブラジル県連から園田副会長(鹿児島県人会長)の姿もあった。園田副会長はピラポに入植した兄ピラポ前日本人会会長や、兄弟がイグアスにもいる。

日本人会会館では入植写真展が開かれており、入植当初から50年の歴史と発展が手に取るように分り、写真、使用農具や生活用品が並べられていた。目を引いたのが当時中村直知事から贈られたテープ型カラオケ機もあった。広場ではEXPOピラポが開かれ農機具や自動車、売店など所狭と並んでいた。この日乳牛100頭余を飼っている、花巻出身の佐藤篤司氏方へ伊藤夫妻と共に宿泊し翌日県人会式典に出席した。



岩手答礼訪問日誌 (4) 記 千田曠曉

「花巻まつり」



9月12日(土) 夕闇迫る頃祭りを見学する特設会場に案内された。後刻花巻市と姉妹提携している山形県の市か町村の方々と見学した。初めに、地域別や学校名が書かれたプラカードを掲げた、華やかな神輿を担いだ子供たちが、ワッショイ、ワッショイと元よく練歩く姿が愛らしかった。その後、光々と灯りの付いた(昔ながらのエチレングスを使用)絢爛豪華な「山車」が出現。私にとっては本物の山車を多く見るのは子供の頃以来(50 数年振り)で、本当に懐かしく思った。雨が激しくなってきたので宿舎の金谷温泉へと向かった。

写真 上段【子供たちの神輿】

写真左【勇壮な花巻山車】

特別観覧席 →



服部さんの同級生

宿舎である郊外の金谷温泉に旅装を解き、会員服部(旧姓柳村)葉子さんの同級生が経営している「バー順子」に藤原職員、渡辺勉前市長(賛助会員)さん、高橋典克さん(医師で友人と3年ほど前に来伯、賛助会員)と集まった。

このお店に寄った理由は(言訳ではないですよ)バーの店主順子さん(写真左)は葉子さんの同級生で、昨年中頃順子さんから頼まれた市職員から「柳村葉子さん」の連絡先を知りたい。来年「還暦祝」をしたいので連絡があり、洋子さんの旧姓を覚えていたので連絡。洋子さんから順子さんに連絡がつき、訪岩の折、葉子さんに写真などを頼まれて寄った次第。



9月13日(日)「金谷温泉」は、広域公園内にあり山間の静かなホテルであった。温泉はアルカリ性単純温泉で神経痛、疲労回復、筋肉痛に効果があると書いてあった。早朝45周年に来伯した尺八奏者の高橋さんが、わざわざ駆けつけ尺八演奏を聞かせてくれた。



金谷温泉

盛岡から藤村秋夫さん勝巳さんの迎えの車で、遠野市を経て太平洋側の山田町へ向かう。遠野市では高台にある築200余年と云う南部曲り家千葉家を見学。(仲代達也主演の映画遠野物語の撮影に使われた。この家は千葉家の人々が現在でも生活をしている)

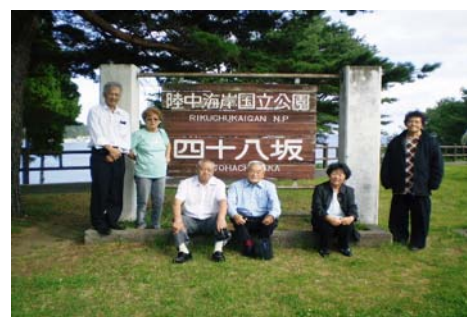


次いで広大な敷地にある「遠野馬の里」を見学に行ったがお休みであった。

ここでは競走馬の調教、乗馬の育成調教、繁殖が行われている。「福泉寺」(写真下)には、木彫りでは日本最大級の観音像(高さ17m)が安置されている。



見学を終えた後、陸中海岸線をひた走り四十八坂のレストランで太平洋を眺めながら昼食。



【9月8日の追加】「桜山神社参拝」この神社は旧南部家を奉ってあり、昨年1月急逝された第45代南部利昭氏の冥福を祈った。

JICA派遣で援護協会傘下の青空教室に自閉症専門家として来ていた三枝たか子さんの兄田鎖康誠氏が守っているとの事である。

この後、南部家代々のお墓を参拝した。第46代南部家当主には長兄の息子さんが跡継ぎと聞いていた。県人会ニュース168号追加版で「新緑の街に武者行列」の記事で、第46代利文氏の名前が出ていて紹介したものである。





Associação Cultural e Assistencial Iwate Kenjinkai do Brasil
 Rua Thomaz Gonzaga, 95 - M: CEP 01526 - 020 - LIBERDADE - SÃO
 PAULO - BRASIL
 TEL/FAX (011) 3207 - 2383
 www: iwate.org.br e - mail: iwate@iwate.org.br
 ☆ ブラジル岩手県人会ニュース 2010 年 8 月発行

ブラジル岩手県人会



湯田ダム

にしわがちょう あきた けん セツ おう う さん が く ち たい ひろ ち い き そうめんせき
 西和賀町は、秋田県と接し奥羽山岳地帯に広がる地域で、総面積
 590km 平方、人口 6600 余名。南北に和賀川が貫き、多くの川や沢
 があり豊富な水資源に恵まれ、北に国の自然保全地域として指定されて
 いる和賀岳、南に栗駒国立公園内に南内岳がそびえ、錦秋湖周辺は
 湯田温泉郷県立自然公園に指定されているなど、豊かな自然に囲まれ
 ています。産業は農畜林業が主で、観光や 10 箇所以上の温泉がある。
 同地方は湯田村、沢内村、それに川舟村、猿橋村、大田村、
 前郷村、新町村、大野村などが合併し平成 17 年西和賀町が誕生した。
 沢内村の碧祥寺博物館には、重要有形民族文化財資料が数多く陳列
 (ブラジルの原石や産品も展示) され、マタギ関連をはじめとする住時の
 生活用具が展示されている。



錦秋湖